



医療従事者を対象としたワクチン忌避に関する
Knowledge, Attitudes, and Practice (KAP) 調査を用いた横断的研究
アンケート参加協力をお願い



日本小児科学会 予防接種・感染症対策委員会

関係各位

日本小児科学会（JPS）と米国小児科学会（AAP）は、予防接種教育合同プロジェクトとして、昨今注目されている Vaccine Hesitancy（ワクチン忌避）に対するプロジェクトを計画しています。本プロジェクトの目的は、模擬患者を用いたシミュレーション・トレーニングを介して、保護者におけるワクチン忌避に対する国内小児科医の対応力を向上させることです。AAP はすでにワクチン忌避へのシミュレーション・トレーニングを、米国内で小児科医および医療従事者に提供しており、成果を出しています。

しかしながら、予防接種の状況は各国で異なり、導入に際しては各国の状況に合わせて修正する必要があります。日本において医療従事者がどの程度、ワクチン忌避の患者と接しているのか、医療従事者自身はそれについてどの様に感じているのか、また実際、どの様にアプローチしているのか、国内の医療従事者のワクチン忌避に関わる状況を報告した研究はこれまでにありません。

今回、子どものワクチン接種、ワクチン忌避に関するオンライン・アンケートを用いた横断研究を行います。実施期間は9月13日（月）～10月12日（火）です。その目的は、ワクチン接種およびワクチン忌避に関する国内の現状を把握することです。得られた結果に基づき、米国小児科学会が作成したワクチン忌避に対するシミュレーション・トレーニングを日本の現状に合わせて改変し、国内においても導入する予定です。また、ワクチン忌避に関する国内の現状を知ることは、ワクチン接種率の向上や、医療システムの適正化、医療従事者への教育システムの構築の一助となると考えております。なお、本研究では新型コロナウイルス感染症ワクチンを除いたワクチンを対象としております。

本研究は JPS、AAP 両方の倫理委員会から承認を得ており、研究目的以外に使用されることはありません。得られた情報は日本小児科学会 予防接種・感染症対策委員会内のみで利用し、AAP と一部情報共有を行います。また、研究代表者が情報の管理責任を負います。研究結果は関連の学会および論文にて発表の予定です。対象者は、子どもにワクチン接種を行っている、あるいは、子どもやその家族に対して、ワクチン接種に関する説明を行っている医療従事者で、実際の接種業務への従事の有無は問いません。調査への参加は、自由意思によるものです。研究の目的や意義を読んで頂き、参加しても良いと思われた方は、下記のリンクからオンライン調査へのご回答をお願い致します。調査返却をもって、参加に同意して頂いたものと致します。個人を特定できる情報は扱いませんので、調査返却後に参加を撤回することはできません。所要時間はおよそ 20-30 分です。

今後の日本における子どものワクチン接種推進のため、多くの方々にご協力頂きたいと考えております。有意義な研究となるよう、研究の趣旨をご理解頂き、参加協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

研究代表者 新潟大学医学部小児科学教室教授 齋藤 昭彦

問い合わせ先 vaccine-hesitancy@jpeds.or.jp



<https://jp.surveymonkey.com/r/L9TNDT2>